



花崎北小学校だより

学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」

令和5年度
9月号
児童数257名

「どうする!？」

校長 藤井 真仁

7月下旬に、「国連のグテーレス事務総長が『地球沸騰化の時代に入った』と警鐘を鳴らした」というニュースを耳にしましたが、今年の夏は、その言葉どおり猛暑が続きました。まだまだ、暑い毎日です。皆さん、体調には充分にご留意ください。

この夏は、多くの地域で4年ぶりにお祭りや花火大会などのイベントが復活しました。テレビ等では、連日、観光地やイベントの賑わいを報道していました。やっと、コロナ前の日常が戻ってきたと感じます。

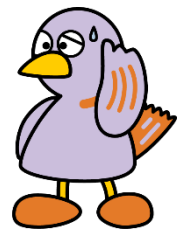
私は、この夏、NHKの大河ドラマ「どうする家康」の舞台となった地をいくつか巡ってきました。ドラマでは、松本潤さんが演じる徳川家康が、正解のない「どうする!？」に対して状況を判断し、自らの行動を選択していきます。時には選択を誤り、戦に敗れることもありました。もちろん、正しい選択がたくさんあったからこそ、260年もの太平の世を築けたのでしょう。

さて、「人生は、選択の連続である」と言われます。

私たちは、毎日、たくさんの小さな選択をしながら生活しています。学校生活においても、「手をあげて発表しようかな。間違ったら恥ずかしいな」とか「友達に注意した方がいいかな。言い返されたらいやだな」など、選択の場面がたくさんあります。

そして、時々、大きな選択を迫られる場面が訪れます。私の大きな選択は、「進学」「就職」などが挙げられます。

小学生にとっても、その時その時で、大きな選択があると思います。大きな選択を迫られた時には、最後は自分で決めてほしいものです。決める際に、家族や友達などにアドバイスを求めることもあるでしょうが、最後は自分で。その選択に自分自身が責任をもつことで、その後の行動が変わり、良い結果につながると思います。あとになって、その選択が正しかったかどうかを決めるのも自分です。正しい選択が続いて、いつでも「今、幸せだな」と言える日々を送りたいものです。



(大河ドラマを観ていると、家康の周りには優秀な人材がたくさんいたと感じます。

やっぱり、周りのサポートは大事ですね。)

いよいよ、2学期がスタートしました。保護者の皆様や地域の皆様と連携・協働し、子どもたち一人一人を確実に伸ばせるよう取り組んでまいりますので、引き続き温かいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。